

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

別冊資料 1-1

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
1	2007/03/22	女性	10歳未満	18mg	エチルコハク酸エリスロマイシン d-マレイン酸クロルフェニラミン 塩酸アンブロキシソール ヒベンズ酸チペピジン ツロブテロール	心肺停止	死亡	インフルエンザ陽性。リン酸オセルタミビル18mg1回内服。夜間、「呼吸苦しそう」との連絡あった後、呼吸停止となり来院。挿管し、人工呼吸するも回復せず。救急車にて他院に搬送するも死亡が確認された。 (3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.117と同じ)	B-06025952
2	2007/03/22	男性	50歳代	150mg		腎不全	不明	略	B-06025970
3	2007/03/23	男性	10歳代	75mg		異常行動 意識消失	回復 回復	インフルエンザB型と診断。突然起床。玄関ドアの前で意識消失し転倒。意識消失は2~3分間。その間けいれんは認めない。後頭部打撲。翌日、異常行動、意識消失回復。再受診時には、患者のその間の記憶はない。	B-06026126
4	2007/03/23	女性	60歳代	150mg		意識消失	回復	夜、本剤服用後、医院から帰る途中、車にて事故を起こした。意識消失発現。来院し、体温36.2℃。事故について、意識がなかったことを聞く。CT異常なし。意識消失回復。	B-06026127
5	2007/03/23	男性	10歳代	75mg		幻覚 妄想 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザA治療の為、本剤の投与開始。幻覚、妄想、異常行動発現。	B-06026128
6	2007/03/23	男性	30歳代	不明	アセトアミノフェン	紅斑性皮疹	未回復	略	B-06026129
7	2007/03/23	男性	10歳代	50mg		異常行動 激越	回復 回復	インフルエンザB型。ウロウロ家の中を数回歩き回った。ウーと天井に向かって両手を突き上げ、手を握りしめた。その後ガラス戸を足で叩いて、ガラスを割ってしまった。左足を切って、外科で縫合した。翌日は全て元に戻った。	B-06026130
8	2007/03/23	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	リン酸オセルタミビル1回服用。10時間後、5分くらい変なことを喋った。	B-06026131

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
9	2007/03/23	男性	10歳代	150mg	リン酸コデイン(1%以下)	筋痛		略	B-06026177
10	2007/03/23	男性	10歳代	150mg		視覚障害	回復	略	B-06026178
11	2007/03/23	女性	40歳代	150mg		腸管虚血	未回復	略	B-06026180
12	2007/03/23	女性	30歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動 幻覚 幻聴	軽快 軽快 軽快	インフルエンザB型のため、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。39℃台発熱時、本剤内服後、幻覚、幻聴、異常行動発現。	B-06026181
13	2007/03/26	女性	10歳代	150mg	塩酸セフカペンピボキシル ピロミド酸	発疹	不明	インフルエンザと診断し、リン酸オセルタミビル150mg/日投与開始。夜になり徘徊・手の震えが15分続き、その後眠った。起きてからはそのようなことは無かった。また、夜から発疹が発症。	B-06026296
14	2007/03/27	男性	10歳代	不明	ジクロフェナクナトリウム レボプロキサシン	肝機能異常	軽快	略	B-06026419
15	2007/03/27	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	1回目服用約3時間後、異常な発言あり。2回目服用4時間後、数回叫び、後退りし、手を取るがテーブルの上に乗る、その後、走り回り、母親が、押さえ込む。体温を測ろうとするが、体が硬直し、脇が占められない状態であった。また室内犬をかけた為、犬をゲージに入れるが、朝起きてなぜ犬が、ゲージの中に居るのか判らない状態であった。	B-06026420
16	2007/03/27	男性	10歳代	75mg	プロピオン酸フルチカゾン モンテルカストナトリウム マレイン酸フルボキサミン プロマゼパム マレイン酸レボメプロマジン カルバマゼピン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル75mg内服2時間後「落ちつかない」「外へ出る」と外へ出ようとした。家人が気付き、手をつかむことにより外出は阻止できた。異常行動発現。3時間程落ちつかなかったが、ようやく就寝できた。	B-06026444

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
17	2007/03/28	女性	10歳未満	75mg		意識レベルの低下 大発作痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg内服10分後、嘔吐し、その後焦点合わず氷をいじったり、靴下をいじったりして呼びかけに答えなくなり、眼球上点、全身強直間代性けいれんとなった。けいれんが止まった後も、呼びかけに答えずに四肢を動かす意識障害が持続し、当院搬送。3時間後には意識清明になった。	B-06026529
18	2007/03/28	男性	10歳代	150mg		錯乱状態	回復	リン酸オセルタミビル服用3回目に精神錯乱。母親が止めるにもかかわらず何度もドアを開けて外に出ようとした。精神・神経障害発現。熱が下がってからは何事もなかったように回復。	B-06026540
19	2007/03/28	男性	10歳未満	72mg		口唇浮腫	軽快	略	B-06026602
20	2007/03/28	女性	10歳代	75mg	ヒベンズ酸チペピジン カルボシステイン 塩酸プロメタジン トラネキサム酸	意識消失	回復	体に力が入らず脱力状態。母が階段の上方から両腕をかかえ、家族が階段の下方から両足を持って運んでいた。開眼していたが、昇る途中、呼名に反応しない意識消失状態が1分間あり、家族は1分ほど両足の硬直を感じた。その後硬直は消失し、呼名に開眼する状態となり救急車で当院来院した。本人は階段昇っている途中より、家に救急隊が到着するまでの間は覚えていない。	B-06026622
21	2007/03/28	男性	10歳未満	27mg		幻覚	回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル27mg内服。遠くを見つめ、おぼけが出る等の症状を訴えたため、本剤中止。	B-06026623
22	2007/03/28	男性	60歳代	75mg	センソシド ベシル酸アムロジピン 酸化マグネシウム ゾピクロン	発疹	未回復	略	B-06026624
23	2007/03/28	女性	30歳代	150mg	スルピリン・アミノプロピロン配合剤 塩酸リンコマイシン	健忘	回復	服用2日後、一過性の健忘 夜目が覚めて気がいたらトイレに行っていた。その間の記憶がない。	B-06026629

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
24	2007/03/28	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザBと診断され、昼と夜にリン酸オセルタミビル内服。突然2階にかけ上がった。母が追いかけてつかまえて1階に連れ戻したが、その後、もう一度2階にかけ上がり、母も追いかけたが間に合わず、ベランダへ出、飛び降りた。本人は飛びおりた時の記憶はない。 (3月20日までの医療機関報告(精神神経症状)のNo.118に同じ)	B-06026630
25	2007/03/29	女性	30歳代	150mg	炭酸リチウム バルプロ酸ナトリウム	毒物誘発脳症	軽快 軽快	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル75mg投与後比較的早く、浮遊感が出現。マンション4階に居住しているがベランダから下をみるとあたかもすぐ近くに地面があるかのごとくの錯覚あり。	B-06026663
26	2007/03/29	女性	30歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) アセトアミノフェン	発作性頻脈	軽快	略	B-06026693
27	2007/03/29	男性	40歳代	150mg	レバミピド セラペプターゼ ヒベンズ酸チペピジン 塩酸エピナスチン	意識レベルの低下	回復	A型インフルエンザの診断にて、リン酸オセルタミビル150mg/日処方。歩行中、自分の前後の記憶が一部飛んでるのに気付く。また、踏切の遮断機がおりているのに気付かず、踏切板が頭に当たって恐怖を感じる。	B-06026707
28	2007/03/30	女性	40歳代	150mg		痙攣	軽快	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害、痙攣発現。意識障害で倒れ、顔を打った。本剤投与中止。	B-06026807
29	2007/03/30	女性	10歳未満	不明		異常行動	軽快	服用後5時間、異常言動発現。再来院し、入院。脳波及びCT検査での異常はなし。	B-06026808
30	2007/03/30	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	肝機能異常	軽快	略	B-06026809
31	2007/03/30	男性	10歳未満	60mg	臭化水素酸デキストロメトルファン アセトアミノフェン	異常行動 痙攣	回復 軽快	インフルエンザA確定。服用30分後に奇声を発するも押さえつけ入眠。けいれん発現。入院目的に搬送時、意識クリアーになる。	B-06026846

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
32	2007/03/30	男性	40歳代	150mg		自殺企図	未回復	処方1週間後、自殺未遂。首をつろうとしていたのを家族が発見。自殺未遂前に本剤内服していたかは不明。	B-06026847
33	2007/03/30	女性	10歳代	150mg	麻黄湯 アズレンスルホン酸ナトリウム	自殺企図	未回復	インフルエンザBと診断。朝本剤75mg1回服用し、その後本剤の服用はしていない。朝より手首を傷つけたり、死にたいなどと口走るようになり、家族が気をつけていたが屋頂2階の窓より飛び降りて胸腰椎を骨折。 (3月21日以降の医療機関報告のNo.12に同じ)	B-06026848
34	2007/03/30	女性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザの診断なし。リン酸オセルタミビル60mg1回服用。布団を蹴飛ばし「怖い」と叫び、視点が定まらず、母がかまえていた。インフルエンザ迅速検査陰性、咽頭粘液、血液でのインフルエンザウイルス同定(PCR)陰性。	B-06026849
35	2007/04/02	男性	10歳未満	不明		痙攣	軽快	インフルエンザ検査は陰性であったが、リン酸オセルタミビルを処方。 痙攣が起きたため、入院。	B-07000002
36	2007/04/02	男性	10歳未満	不明		幻覚	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用後、幻覚発現。	B-07000056
37	2007/04/02	男性	10歳未満	30mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用30分後、母親が目を離した間に道路を全速力で走っており、家につれて帰った後はベランダの柵を越えようとしていた。 翌日、異常行動回復。	B-07000057
38	2007/04/02	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	2階へ急に上がって行き、飛び降りた。打撲程度。意識ははっきりしていた。	B-07000058
39	2007/04/02	男性	10歳代	150mg	セフトラムピボキシル 臭化チキジウム ピフィズス菌製剤 メクロブラミド プロメライン・結晶トリプシン アセトアミノフェン フェンジゾ酸クロペラスチン	斜頸	回復	39.3℃の発熱。インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。 服用2日目の朝、フェンジゾ酸クロペラスチン処方。同日夕方に顎が外れたような感じで首が右に傾斜のまま。目は左右に動いており一定していない。首の筋肉のはりがなし。痛みを訴える。同日夜、入院し、本剤服用中止。翌朝、解熱して退院。主訴も回復。	B-07000059

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
40	2007/04/02	女性	20歳代	150mg	プラノプロフェン ジプロフィリン・ジヒドロコデイン配合剤	痙攣	回復	A型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用開始。 3回目の服用4時間半後、痙攣が発現。翌日、回復。	B-07000060
41	2007/04/02	男性	60歳代	150mg		発疹 血便排泄	回復 回復	略	B-07000061
42	2007/04/03	男性	30歳代	150mg	麻黄湯	突然死	死亡	38℃の発熱あり。インフルエンザAの診断のため、リン酸オセルタミビルを処方。普通に会話し、普通に歩いて寝た。深夜、家族が様子を見に行ったらところ呼吸をしていないのに気付く。救急車を呼んだ。救急隊が到着した時には心肺停止状態。心肺蘇生を行うも改善せず、死亡が確認された。死体解剖の結果、脳、胸部、腹部臓器に心肺停止をきたすような明らかな所見なし。薬剤の可能性のみが残っている。	B-07000062
43	2007/04/02	男性	10歳代	150mg		異常行動	不明	ワクチン接種あり。インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg、1日2回処方。 2階の窓から飛び下りようとしたが、家族が止めた為、事故にはならなかった。 異常行動があったため、当院にて診療。 治癒後も目が覚めると歩きまわる様になった。	B-07000063
44	2007/04/02	男性	10歳代	75mg	鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン 塩酸セフカペンピボキシル	意識消失	軽快	インフルエンザ治療のため、本剤服用。1時間後、意識レベル低下。両親の呼びかけに応じないため、救急者にて他院に搬送。その後、自然回復。	B-07000064
45	2007/04/02	女性	10歳代	75mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン カルボシステイン 塩化デカリニウム アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱39℃、咳あり。インフルエンザB型治療のため、夕食後にリン酸セルタミビル75mg服用。 深夜、眠っていたが、突然起き上がって、部屋中を走り出したため、家族が制止した。目つきも怪しかった。異常行動発現。 異常行動回復。本剤服用中止。	B-07000065

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
46	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	クラリスロマイシン プラシルカスト水和物 カルボシステイン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン	精神症状	回復	インフルエンザ抗原A型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。38～39℃台の発熱が続いていた。夕方、本剤服用。夕食後自室で寝ていたところ、急に起き上がり、意味不明の発語あり、窓から外へ出ようとするため、母親が馬乗りになっておさえた。5～10分程で興奮状態がさめた。その後、同様の症状は出なかった。発熱による症状かと思いつくには連絡しなかった。本剤服用中止。	B-07000066
47	2007/04/02	女性	10歳未満	27mg		痙攣	軽快	リン酸オセルタミビル27mg服用後、暫くして痙攣。2回目から服用中止。翌日、痙攣軽快。	B-07000067
48	2007/04/02	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン 鎮咳配合剤(1)	意識消失 痙攣	回復 回復	リン酸オセルタミビル75mg服用。約4時間後、母親が心配でトイレに付き添った所、突然意識消失し、痙攣を起こした。声をかけたところ、5秒後に回復した。しかしその後の返答もおかしくトイレに行こうとしたのにも関わらず、ご飯を食べにリビングに行こうとしたと、トンチンカンな事を言った。	B-07000068
49	2007/04/02	女性	小児	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。しゃべりまわっていた。	B-07000074
50	2007/04/02	女性	10歳未満	90mg		幻覚	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後に幻覚発現。服用5日目、幻覚は回復。	B-07000075
51	2007/04/02	男性	50歳代	150mg	アセトアミノフェン ジアゼパム	異常行動 譫妄	不明 不明	インフルエンザ罹患3日前、糖尿病により右足を形成外科にて手術を受ける。入院。高熱あり。診断キットにてインフルエンザA陽性のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。夜、ベッドから降りベッドの柵に頭を何度も打つ、その後、部屋から出ようとし看護師に制止されるが暴れまくる。後に意識が回復し看護師が暴れていたことを伝えたところ当時の記憶はなかった。服用開始3日目、本剤投与後再度、異常行動、せん妄がみられベッドの上に立つ等の行動があった。CTにて脳出血等の異常なし。	B-07000076

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
52	2007/04/02	男性	小児	150mg	フェンゾ酸クロペラスチン 塩酸アンブロキシール イブプロフェン	異常行動	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg1日2回服用。 深夜、突然起きだし、外に出る。父が呼び止めるも止まらず。	B-07000077
53	2007/04/02	男性	10歳代	150mg	フマル酸エメダスチン カルボシステイン 塩酸エブラジノン	異常行動 幻覚	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、幻覚発現。トイレに行くといって玄関の方へ歩いていくが家族によって制止され、その後眠った。 翌朝、服用後、トイレで母親が死んだというようなことを大声で叫び、頭をうち倒れたとこのこと。 翌々日、熱が引かないためセフトリアキソンナトリウム処方。全身状態は悪くないとのこと。	B-07000078
54	2007/04/02	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	B型インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル服用。服用5時間半後、39.3℃の高熱のため、アセトアミノフェン服用。 服用6時間半後、トイレの便器周辺に排尿。目がとろんとした状態で、にこにこしながら学校の話を上舌となり、異常行動発現。 父親に叱られるも、通常の意識には戻らず、その後すぐに入眠した。その時の記憶はないようであった。 服用7時間半後、37.3℃となり、その後、覚醒し、この時点で意識は正常に回復。熱が38℃であったため、アセトアミノフェン服用。翌日、本剤中止。	B-07000079
55	2007/04/02	女性	50歳代	150mg		出血性腸炎	回復	略	B-07000085
56	2007/04/02	女性	10歳未満	120mg	ヒベンズ酸チペピジン フマル酸クレマスチン アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、異常行動発現。急に起き上がり「トイレ、トイレ」とさけび部屋を走り回るためおさえる。5～6分続く。翌朝、服用後、寝たままわけのわからないことを言うので、様子を聞くと「さわるな」と言ってあばれる。5～6分続く。 その後も服用は続けたが異常行動の発現なし。	B-07000086



# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
57	2007/04/02	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザB治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。夕方、洗面台の上に立ち上がり、自殺すると20分ほど叫ぶ等の異常行動発現。その後、リビングを駆けまわる。ピョンピョンとぶ。「もうダメだ、どうにもならない、外に出ないと」と興奮。発現4時間後、落ちつくが、本人は覚えていない。夢の中で何か興奮していたと本人は言っている。翌日、舌がマヒ。服用4日目、異常行動回復。	B-07000087
58	2007/04/02	女性	10歳代	150mg	d-マレイン酸クロルフェニラミン 硫酸サルブタモール	異常行動	軽快	インフルエンザウイルス感染症治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。深夜、トイレに行き、トイレの中で意味不明なことを絶叫し、その場で倒れて意識不明の状態になった。30分後、救急車で運ばれて来たが、その際は意識は回復していた。異常行動軽快。	B-07000088
59	2007/04/02	男性	20歳代	不明		意識消失	回復	インフルエンザ様症状を発症。発症6日後、友人からもらったリン酸オセルタミビル服用開始。翌日、車の運転中意識がなくなり、壁にぶつかり、当院のICUに入院。意識レベルバイタルは正常だが、ハンドルを腹部にぶつけ、肝臓の損傷の疑いあり。アンギオ実施。同日、意識消失は回復。	B-07000089
60	2007/04/02	女性	10歳未満	不明	塩酸セフカペンピボキシル ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘプタジン 塩酸プロカテロール 塩酸アンブロキシール	異常行動 異常行動	回復 回復	リン酸オセルタミビル服用開始。 同日、「何か気分がいい」との異常言動が発現し、翌日回復するが、服用4日目まで、「何者かに追われている」との異常言動が発現。 服用4日目、本剤服用中止。中止翌日、異常言動回復。	B-07000090
61	2007/04/02	女性	40歳代	不明	アセトアミノフェン 乳酸リンゲル液(ソルビトール加) チアミンジスルフィド・B6・B12配合剤 アスコルビン酸	アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ増加 アラニン・アミノトランスフェラーゼ増加	回復 回復	略	B-07000091

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
62	2007/04/02	男性	40歳代	75mg	ベラプロストナトリウム 塩酸セベラマー メチルドパ ベシル酸アムロジピン バルサルタン アルファカルシドール ポリスチレンスルホン酸カルシウム 沈降炭酸カルシウム クロナゼパム メコバラミン センソシド	異常行動	軽快	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。透析患者のため、本剤75mgを1回のみ投与する予定が、誤って1日1回を5日間投与してしまった。5日間服用後、夜間透析を受けており、睡眠中だったが、急に起きて透析の針を自分で抜いてまた刺したという異常行動(自己抜刺)をおこした。同日症状回復。	B-07000092
63	2007/04/02	男性	10歳未満	75mg		幻覚	軽快	リン酸オセルタミビル服用開始。2回目服用後、深夜、幻覚が出現し、10数回、起き上がり逃げ回った。翌朝、投与中止。翌々日、幻覚は軽快。	B-07000097
64	2007/04/02	男性	10歳未満	70mg		脳炎	死亡	A型インフルエンザ罹患者との接触があり、また化学療養中で免疫機能低下状態のため、感染予防目的でリン酸オセルタミビル投与開始。敗血症発症。服用から3日目、髄膜脳炎を発症(細菌陽性)。	B-07000098
65	2007/04/02	男性	10歳未満	150mg		幻覚 異常行動	回復 回復	A型インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル服用開始。幻覚、行動の異常発現し、同日回復。	B-07000100
66	2007/04/02	男性	10歳未満	72mg	塩酸シプロヘプタジン ヒベンズ酸チベピジン セフォタキシムナトリウム ジアゼパム	痙攣 意識レベル の低下	不明 回復	深夜、発熱。翌朝、インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤3回目服用後、けいれん(1分くらい)発現し、入院。丸1日意識レベル低下。けいれん、意識レベル低下(ともに非重篤)発現。翌日、熱が下がる。翌々日、本剤服用中止。服用中止1日後、ふらつき、頭痛あり。(意識レベルは正常)MRI異常なし。幻覚、四角い錠、ふらつき、傾眠発現。服用中止2日目、「あそこに何かいるから痛い」と言う異常行動発現。	B-07000101

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
67	2007/04/02	不明	10歳代	不明	アセトアミノフェン	浮動性めまい 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル処方。服用3時間後、言動がおかしくなり、階段より転落し、上肢痙攣がみられた。救急車で受診するも、意識レベル回復し、画像上も異常所見なし。	B-07000102
68	2007/04/02	女性	20歳代	150mg	鎮咳配合剤(1) カルボシステイン 塩酸アンブロキソール ロキソプロフェンナトリウム テオフィリン ツロブテロール フマル酸クレマスチン マレイン酸イルソグラジン ファモチジン ビオチアスターゼ2000配合剤(19) 塩酸シプロフロキサシン 塩酸テトラサイクリン スルピリン ケトプロフェン	心肺停止	死亡	咳、咽頭痛、鼻汁、38.2℃の発熱あり。インフルエンザB型と診断し、リン酸オセルタミビル処方。同日夜から嘔気が発現。服用2日目、立ちくらみのような症状あり、食べられず、薬も飲めず。服用3日目、血圧:110/68、体温:38.0℃。点滴治療を行い症状軽快。食事摂れた。数時間後、嘔気軽快。服用4日目も同様に、嘔吐発現し、点滴にて軽快。服用5日目、朝、救急車に搬送中に心肺停止。蘇生行方もなくなったとのこと。	B-07000103
69	2007/04/02	男性	60歳代	75mg		痙攣	死亡	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル75mg服用。翌未明、けいれん(全身性)発症。	B-07000104
70	2007/04/02	女性	20歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識消失	回復	夕食後、リン酸オセルタミビル服用開始。翌未明、トイレに行ったとき気を失う。顔を打つ。現在、顔の傷の治療のため通院中。	B-07000105
71	2007/04/02	男性	10歳未満	不明	カルボシステイン	激越	回復	午前中から39~40℃台の発熱があり、インフルエンザ抗原検査でA型陽性のため、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、大声をあげて、一点を凝視した。その後、ぼーっとして入眠した。服用4時間後、大声をあげて、押さえつけていないと動き出そう暴れた様子で、救急車で当院救急外来に搬送された。来院時、意識は清明で興奮状態になかった。	B-07000106
72	2007/04/02	女性	10歳代	130mg	ヒベンズ酸チペピジン 塩酸シプロヘパタジン カルボシステイン	異常行動	回復	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。異常行動、言動(家電をなぐった)発現。服用3日後、異常行動、言動回復。	B-07000107

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
73	2007/04/02	女性	10歳代	75mg	非ピリン系感冒剤(4)	異常行動	回復	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。服用6時間後、2階から突然飛び降りた。飛び降りた瞬間に意識が戻った。 本人の申告では、ガラス窓と雨戸をあけて、戸外にとびおりたその瞬間に気づいたとのこと。 服用7時間後、家族が外に転落しているのを発見。翌朝、救急で搬送。CT、レントゲン異常みられず帰宅。	B-07000108
74	2007/04/02	男性	10歳未満	120mg		意識レベルの低下	回復	リン酸オセルタミビル服用当日夜、意識障害(重篤)、痙攣が発現。翌日、意識障害回復。	B-07000110
75	2007/04/02	男性	10歳代	150mg	リン酸ベンプロペリン メキタジン ラマトロバン	異常行動	回復	インフルエンザA型治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用開始2日目朝、体温;38.8℃。夜中、異常行動あり、布団に座って「キャッシュユが卒業して」と言いながら泣いている。就寝。その後、異常行動なし。 服用開始3日目、インフルエンザ軽快。服用開始5日目、朝、38℃の発熱、夕、39℃。来院時37.4℃。B型インフルエンザと診断し、本剤処方。夕方、本剤服用。同日、夜中、トイレにこもる、階段の昇り降りを繰り返すなどの異常行動、異常言動が発現。その後、異常行動回復。	B-07000111
76	2007/04/02	男性	90歳代	75mg	アセトアミノフェン	白血球数減少	不明	略	B-07000112
77	2007/04/02	男性	小児	75mg		痙攣	軽快	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。自宅でうずくまっているのをおこしたときに痙攣があり、救急搬送される。熱はなく、意識もあり、身体レベルも異常なし。脳圧も正常。当日、痙攣軽快。	B-07000113
78	2007/04/03	男性	30歳代	150mg		急性肝炎	軽快	略	B-07000118
79	2007/04/03	女性	90歳代	150mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	発熱38.5℃、咽頭痛、倦怠感。インフルエンザA型と診断。服用3日目、夜、点滴抜針し、枕を投げ、ふとんをおしやり下に落とし、突然暴れた。服用4日目、朝、家人にトイレ介助を訴え、家人介助する。この時点で落ちついた様子であった。服用5日目、本剤投与終了、落ち着いてきたため退院。	B-07000119
80	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		幻覚 異常行動	不明 不明	インフルエンザAに対して、リン酸オセルタミビル2回内服。幻覚症状があり、暴れたりした。	B-07000120

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
81	2007/04/03	女性	10歳代	150mg	カルボシステイン d-マレイン酸クロルフェニラミン 臭化水素酸デキストロメトルファン	異常行動	回復	本年2月27日の早朝、39°Cの発熱、鼻汁、咽頭痛、頭痛を認め、午前中来院し、A型インフルエンザと診断。同日、昼・夜、上記薬剤を服用。服用2時間後、1階にいた家族の知らないうちに、2階より寝巻き裸足のまま家を出て、近くの家で保護されていた。落ちたのか飛び降りたのかは不明。本人は夢が怖くて窓のシャッターを開けベランダから外に出たといっているが、よく覚えていないとのこと。翌日は意識も清明で特に異常所見は認められなかった。	B-07000121
82	2007/04/03	女性	30歳代	150mg		腎障害	回復	略	B-07000122
83	2007/04/03	男性	10歳未満	150mg		異常行動	回復	インフルエンザに対しリン酸オセルタミビルの投与を開始。同日、異常行動発現。翌日、異常行動回復。	B-07000123
84	2007/04/03	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	過去に本剤服用時に異常行動が発現(詳細不明)したことあり。インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始し、異常行動発現。翌日、異常行動回復。	B-07000124
85	2007/04/03	女性	80歳代	150mg	塩酸マニジピン ピコスルファートナトリウム	幻覚	回復	37.1°Cの熱および鼻水あり。インフルエンザA型と判明し、本剤処方。翌日、前日より熱が上がっており37.7°C。昨晩は寝られなかった様で、家族の話では夜中に意味不明の発言をしていたとのこと。	B-07000126
86	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4)	血小板減少症	未回復	略	B-07000127
87	2007/04/03	女性	10歳未満	33mg		異常行動	記載無し	A型インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル処方。同日夜、異常行動(急にかけだし意識消失して眼が上転し転倒)。翌日、トイレに行こうとして眼がうつろになってたおれた。	B-07000128
88	2007/04/03	女性	40歳代	150mg	酒石酸ゾルピデム フルバスタチンナトリウム ピコスルファートナトリウム 非ピリン系感冒剤(4) ロキソプロフェンナトリウム テプレノン	異常行動	回復	患者がインフルエンザの検査を拒否したが、リン酸オセルタミビル処方。翌日、通勤する際、車で自損事故を3回繰り返した。来院し、インフルエンザの検査を実施したところ陰性。	B-07000129

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
89	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	ロキソプロフェンナトリウム 塩酸セチリジン ヒベンズ酸チペピジン	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与。熱いと言ひ、ベランダに出ようとした。異常行動発現。異常行動回復。	B-07000130
90	2007/04/03	女性	10歳代	65mg	クラリスロマイシン ヒベンズ酸チペピジン アセトアミノフェン カルボシステイン 臭化水素酸デキストロメトルファン	多幸気分 妄想 激越	回復 回復 回復	インフルエンザB型と診断され、親の希望でリン酸オセルタミビル処方。朝から服用開始。翌日、異常興奮発現(重篤度不明)。解熱。服用3日目、気分高揚、妄想発現(重篤度不明)。自宅のソファの背もたれの上に立ち上がってから、床に向かって顔から転落。口腔内から出血するなどした。その帰宅途中にガードレールを超えて車に飛び込もうとしたため、ガードレール越しに祖母がつかまえたが、勢いがあり祖母が転倒して顔面打撲した。翌日、異常興奮、気分高揚、妄想回復。	B-07000131
91	2007/04/03	男性	80歳代	不明		血小板減少症	未回復	略	B-07000132
92	2007/04/03	男性	20歳代	150mg		譫妄	軽快	インフルエンザ疑いのため、リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、意識もうろう、うわ言発現。本剤投与中止。翌々日、意識もうろう、うわ言軽快。	B-07000133
93	2007/04/03	女性	20歳代	150mg		肝障害	不明	略	B-07000134
94	2007/04/03	男性	10歳未満	102mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤2回目服用後、ベッドの上で跳び始めた。何かにおびえる様子。異常行動発現。38°C台。2日後、異常行動回復。	B-07000135
95	2007/04/03	女性	40歳代	150mg	アセトアミノフェン	意識レベルの低下	不明	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。意識障害(記憶)発現。	B-07000136
96	2007/04/03	男性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル投与開始。本剤投与終了2日後、意識障害、痙攣発現。同日、回復。	B-07000148
97	2007/04/03	男性	50歳代	150mg		交通事故	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビル処方される。翌日、自動車を運転中、道路横の標識ポールに激突し胸部打撲。(エアバッグ作動)患者は衝突のことを覚えていないとのこと。	B-07000149
98	2007/04/03	男性	20歳代	不明	アセトアミノフェン	幻覚	回復	インフルエンザA型と診断。リン酸オセルタミビル処方。発熱38°C。夜、本剤服用3時間後、「死神が見える」と訴える。幻覚発現。翌日、インフルエンザ脳症の疑いで、入院。	B-07000150

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
99	2007/04/03	男性	20歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル投与開始。投与開始4日後、異常行動発現。翌日、異常行動回復。	B-07000151
100	2007/04/03	女性	10歳未満	100mg		痙攣	回復	40.5℃の発熱と腹痛のため、母親同意の下、リン酸オセルタミビル処方。一回目の本剤服用約1時間後、いびきをかいて寝ているような状態であったため、心配になって確認したところ、口から泡を吹いているような状態で、再受診。その際、顔は真っ青で、唇はチアノーゼがでていたとのこと。再受診の際は、目は開けているがぼんやりとしており、両親の問いかけにも反応が悪かったとのこと。けいれんが見られており、抗けいれん薬などの処置により回復。	B-07000152
101	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	プラノプロフェン 塩酸アンブロキシール エバステン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルの服用を開始。2回目の服用後、同日、意識障害(非重篤)発現。翌朝、子ども部屋からのうめき声を母親が聞く。部屋に行ってみると当該患者がベットで座位をとり、窓から身を乗り出してうめき声を発していた。しばらくして落ち着いたが、その後一人でトイレに行き、排尿をしている間に意識消失。2~3分程度継続。救急車により搬送される。到着時には、意識は回復。	B-07000153
102	2007/04/03	男性	成人	300mg		視覚障害	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビルを2日間服用。3日目朝、出勤中に交通事故を起こした。右折時に左から来た自転車に気づかず衝突。視野傷害発現。2日目よりなんとなく視野がおかしかったとのこと。視野傷害回復。	B-07000154
103	2007/04/03	女性	50歳代	75mg	アセトアミノフェン	自律神経失調 意識消失	軽快 不明	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを処方される。服用後、就寝。翌朝、服用後、腹痛のためトイレに入る。冷汗が出て気付いたら意識喪失で倒れているところを夫が発見。歯3本折る、顔の外傷、頭部血腫。自律神経系異常(非重篤)、意識消失(重篤度不明)発現。他院でCTをとったが異常なく、現在治療中。夫が発見時、大きないびきをかいていた。	B-07000155
104	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザを発症し、リン酸オセルタミビルを1回のみ服用。投与後2日目夜、異常行動(夜中急に走り出して倒れた)発現。	B-07000156
105	2007/04/03	男性	10歳未満	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。熱せん妄発現。見えないものが、見えるとおびえていた(40.5℃。)翌日、熱せん妄回復。5日目、本剤投与終了。	B-07000157

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
106	2007/04/03	女性	30歳代	不明	アセトアミノフェン	白血球数減少	軽快	略	B-07000158
107	2007/04/03	女性	50歳代	150mg	レボチロキシナトリウム フロモキシセフナトリウム	チアノーゼ	回復	略	B-07000159
108	2007/04/03	女性	50歳代	150mg	臭化水素酸デキストロトルファン 塩酸プロカテロール ラミブジン シクロスポリン	意識消失	軽快	インフルエンザA型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始(5日間)。意識消失発作が発現。投与終了後、3日目、意識消失発作にて自宅で倒れているところを家族が発見した。その後、意識はすぐに回復した(生体肝移植後で大学病院に通院中であり、同病院の医師に相談し、本剤はそのまま内服を続行したが、その後、意識障害はなかった)。	B-07000160
109	2007/04/03	女性	10歳代	不明		痙攣	不明	インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。翌日、本剤内服1時間後にけいれん発現。本剤投与中止。	B-07000161
110	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		異常行動	回復	本年2月3日、インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。異常行動(飛び降り)発現。投与5日後、本剤投与終了。1ヵ月半後、異常行動回復。	B-07000162
111	2007/04/03	男性	10歳代	100mg	ヒベンズ酸チペジン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン ブドウ糖 塩酸レセルピリン酸ジメチルアミノエチル	異常行動	回復	インフルエンザAと診断され、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日昼、異常行動発現。本剤服用3時間後、2階に駆け上がり、黒いものに追いかけられ、イタイイタイと叫んだ。翌日、異常行動回復。投与4日後、本剤投与終了。	B-07000163
112	2007/04/03	男性	10歳未満	130mg		痙攣	軽快	インフルエンザウイルス感染治療の為、リン酸オセルタミビルを投与開始。同日、けいれん、自動運動発現(非重篤)。同日軽快。	B-07000164
113	2007/04/03	男性	40歳代	不明		急性腎不全	不明	略	B-07000165



# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
114	2007/04/03	女性	10歳代	60mg		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビルを処方され、同日夕方、1回内服するが症状なし。翌日朝、本剤内服。その2時間半後、体が熱い症状訴える。その後母親が目を放した隙に一人で靴を履き玄関を出ようとしていた。患児の姉が気付き止めた為大事には至らなかった。本人は覚えていないとの事。症状が出たときは熱はまだ40℃ほどであった。本剤投与中止。同日、異常行動回復。	B-07000166
115	2007/04/03	女性	20歳代	150mg		急性心不全 急性呼吸不全	死亡 死亡	発熱・咽頭痛・頭痛を認める。その3日目の朝、39℃の発熱。同日夜、インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビルを投与される。次の日、本剤内服するが、その後腹痛出現し、飲めなかった(1カプセル又は2カプセル服用後、中止)。投与開始3日目、体温35.9℃、腹部所見は心窩部に圧痛認めるものの腹壁soft。グル音正常。食欲なし。投与開始4日目、救急搬送される。投与開始5日目、午前3時頃、四肢末梢にチアノーゼがあり、気管内挿管。人工呼吸、心マッサージ等を行うが、午前6時半頃、死亡確認。	B-07000195
116	2007/04/03	女性	80歳代	75mg	クラリスロマイシン トラネキサム酸 塩酸アンブロキシソール 乳酸リンゲル液(マルトース加) 幼牛血液抽出物 アセトアミノフェン	心肺停止 低酸素症 胃腸出血	死亡 死亡 死亡	38.4度の発熱があり、インフルエンザA型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビルを処方。その後自宅に戻った。同日夕方、リン酸オセルタミビルを本剤1カプセル服用。深夜0:30、心肺停止状態となり、救急搬送される。挿管、ボスミン3A+2A静注で心機能は回復したが、肺機能が回復せず、人工呼吸器使用。救命措置により持ち直し、入院。その5日後、死亡。	B-07000196
117	2007/04/03	男性	10歳未満	60mg	アセトアミノフェン	譫妄	軽快	38.8℃の発熱があり、午後8時30分、リン酸オセルタミビルを内服し就寝。その後突然覚醒し異常な発言、再び入院したが次に目を覚ましたとき「行かなきゃ」と言って玄関に向かって行った。約30分後、せん妄状態発現。深夜0:00、救急車を要請し、救急車が到着した頃はほぼ普通にもどっていた。37.3℃。0:25、救急車は使わず、自家用車にて来院。来院時意識清明。せん妄状態軽快。	B-07000198
118	2007/04/03	女性	60歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4)	血便排泄	軽快	略	B-07000199
119	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザBの診断のため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、急に目が見えないと言い意識を失い、その後眼球が上転し四肢がつっぱる様な痙攣(非重篤)を起こしたが、数分で回復。	B-07000200

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
120	2007/04/03	男性	不明	150mg		譫妄 痙攣	不明 不明	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用開始。翌朝服用後、突然うわ言、痙攣発現。そのまま寝てしまう。夕方、回復し、本剤を服用すると再び同じ症状出現。本剤服用中止。	B-07000201
121	2007/04/03	男性	10歳代	不明	バルプロ酸ナトリウム ゾニサミド	痙攣	回復	インフルエンザB型に対して、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、痙攣発現。CT検査異常なし。服用開始2日後、回復。	B-07000202
122	2007/04/03	女性	30歳代	75mg		自傷念慮	回復	本剤服用後、腕を切りたくなるといった自傷願望発現。その後回復。	B-07000204
123	2007/04/03	女性	60歳代	75mg		意識消失	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、意識消失発現。廊下でまへのめりに転倒、顔を床にうつ。本剤服用中止。	B-07000205
124	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	L-塩酸メチルシステイン カルボシステイン セフテラムピボキシル トラネキサム酸 プラノプロフェン トロキシビド ブドウ糖 硫酸イセパマイシン トラネキサム酸	異常行動	回復	インフルエンザB型治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、寝ていたところ突然起き上がり、部屋中を手をゆさぶり歩き回るが、呼びかけには答えず。2~3分で落ち着いた。本剤服用中止。翌日、未明に突然起き上がり、上肢を1分程バタつかせるが、その後回復。	B-07000206
125	2007/04/03	女性	60歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) dl-塩酸メチルエフェドリン 臭化水素酸デキストロメトルファン	出血性腸炎	回復	略	B-07000207
126	2007/04/03	男性	20歳代	不明	非ピリン系感冒剤(4) テブレノン 臭化チキジウム	異常行動	回復	インフルエンザ検査は陰性であったが、発熱38.2℃。インフルエンザと判断し、リン酸オセルタミビル処方。服用30~40分経過後に車で帰宅。運転中に突然、脱力感を感じハンドル、ブレーキの操作も出来ない状態になった。10分後、回復。翌日、本剤を服用したが特に症状はなし。	B-07000208
127	2007/04/03	男性	青少年	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、走行中の車からの飛び出し。異常行動発現。	B-07000209

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
128	2007/04/03	女性	60歳代	150mg		発疹	回復	略	B-07000210
129	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		自殺企図	未回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。本剤服用後、抑うつ、無気力、自殺企図発現。服用開始4日後、服用中止。	B-07000211
130	2007/04/03	不明	90歳代	150mg		間質性肺疾患	不明	略	B-07000212
131	2007/04/03	男性	30歳代	不明		双極性障害	不明	インフルエンザ治療のために、リン酸オセルタミビル処方。服用開始3日目、不安感、孤独感が発現。5日間服用したが、その後、虚脱感、体に入力が入らない、尿の回数が2回/日に減少し、精神科を受診。軽躁状態、双極状態と診断され、それ以降、精神科から投薬を受けている。現在、服用の薬剤はフマル酸ケチアピン、炭酸リチウム、カルバマゼピン、ニトラゼパム。	B-07000213
132	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	セフトキシムプロキセチル 鎮咳配合剤(1) アセトアミノフェン	異常行動	回復	38.9℃と発熱。インフルエンザB型と診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用後、異常言動発言。寝ていたのが起き出し、意味不明の発言あり、何かをさがす様な動きをくり返した。家族の声には全く答えず20分程で回復。その後著変なし、本人全く記憶なし。	B-07000214
133	2007/04/03	男性	10歳代	不明		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。服用後、かなり激しく動き回り、二階へかけ上がる等の異常行動発現。	B-07000215
134	2007/04/03	男性	30歳代	不明		異常行動	軽快	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、異常行動発現し、入院。	B-07000216
135	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	一般用鼻炎薬	精神障害	回復	インフルエンザB型陽性にて、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用終了後、発汗量が減少し、本人が頭がボーとするとした自覚症状を訴えた。服用終了3日目、脳波で異常が認められ、服用終了4日目に入院。脳波では異常所見認めるが少しずつ改善。服用終了11日目に症状改善し、退院。	B-07000217

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
136	2007/04/03	男性	10歳代	75mg	アセトアミノフェン	異常行動	回復	リン酸オセルタミビル服用開始。服用2日目、ズボンを脱いで階段を昇り降りしながら、異常言動発現。当日、夕方に入院するが、症状なく、入院3日後に退院。	B-07000218
137	2007/04/03	男性	20歳代	150mg	麻黄湯 塩化リゾチーム	うつ病	回復	インフルエンザ疑いにてリン酸オセルタミビル処方。服用後、「死にたい」と訴えるなどの異常行動発現し、2回目服用中止。この時、39.1℃。翌朝、38.5℃の発熱、全身倦怠感あり。夕方、39.3℃。再び、「死にたい」と感じたが、前日より落ち着く。その後、解熱。当時の記憶はあまりなしとのこと。	B-07000226
138	2007/04/03	女性	青少年	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。トイレの前で急に倒れ、異常行動発現。近くの救急病院で点滴。	B-07000227
139	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		意識消失	回復	インフルエンザにより、リン酸オセルタミビル服用開始。翌日、服用後、トイレにて倒れていた。2～3分で意識が回復した。	B-07000228
140	2007/04/03	女性	50歳代	150mg	クラリスロマイシン リン酸ジメモルファン セラペプターゼ	幻覚 幻視	軽快 軽快	A型インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用2時間後、気分不良、嘔気が出現。ふらつきがあり、足が倍程に太くなる等の幻覚が発言。翌朝、MRI施行するも異常なし。幻覚、幻視は軽快。	B-07000229
141	2007/04/03	男性	10歳未満	不明		死亡	死亡	インフルエンザに対し、リン酸オセルタミビル投与開始。死亡(詳細不明)。	B-07000230
142	2007/04/03	女性	50歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。2回目服用4時間後、トイレで倒れ意識消失1分位あり。救急車で来院。応答できるがぼんやりした感じ。上肢の脱力と嘔気がある翌朝、症状改善し、退院。倒れたときの記憶はなく、意識消失は確かにあったものと考えられる。	B-07000231
143	2007/04/03	男性	90歳代	150mg		間質性肺疾患	未回復	略	B-07000232
144	2007/04/03	不明	10歳未満	不明		肝機能異常	未回復	略	B-07000239

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
145	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用3日目、暴れだし、階段から飛び降りようとするが、母親がせき止める。同日、本剤服用終了。服用終了3日目、異常行動回復。	B-07000240
146	2007/04/03	男性	10歳未満	96mg	塩酸シプロヘパタジン 塩酸アンブロキシール 塩酸クロフェダノール ロキソプロフェンナトリウム	譫妄	回復	インフルエンザ治療の為、リン酸オセルタミビル投与開始。2回目投与後、「怖い、怖い」とうわ言を言った。異常行動・うわ言発現。4日後、異常行動・うわ言回復。	B-07000241
147	2007/04/03	女性	10歳代	不明		脳梗塞	不明	略	B-07000242
148	2007/04/03	男性	10歳未満	不明	テオフィリン برانلカスト水和物 ツロプテロール	意識消失	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用1時間後、突然笑い出すが、しばらくして消失。再度、本剤及び他薬剤を服用後、両眼球が左上向きになり、口をパクパクして、呼びかけにも応じず、唇の色が悪くなったので、指を口の中へ入れて吐かせる等の対応をした。	B-07000243
149	2007/04/03	女性	40歳代	150mg	非ピリン系感冒剤(4) カルボシステイン 塩酸シプロヘパタジン 鎮咳配合剤(1) ジクロフェナクナトリウム 酢酸リンゲル液(ブドウ糖加)(2-2)	錯乱状態	不明	インフルエンザAと診断。午後よりリン酸オセルタミビル服用開始。投与4日目、午後より、訳のわからないことを言い始める。投与5日目、錯乱状態。	B-07000244
150	2007/04/03	男性	40歳代	150mg		自殺既遂	死亡	一年以上前、インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル服用。次の日、自殺。	B-07000245
151	2007/04/03	女性	10歳未満	不明		頻呼吸 冷汗	不明 不明	略	B-07000255
152	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		意識レベルの低下	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。投与4日目、意識レベルの低下発現。	B-07000256

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
153	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		幻聴 幻覚 異常行動	回復 回復 回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、本剤3回目を服用後様子がおかしくなり暴れだす。幻聴、幻覚、異常行動発現。他院入院。翌々日、回復。	B-07000257
154	2007/04/03	女性	40歳代	不明		低血糖症	不明	略	B-07000258
155	2007/04/03	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	B型インフルエンザとキット診断。夜、リン酸オセルタミビル服用後、就寝。翌朝、朦朧として起床、室内を徘徊し、突然、自宅2階ベランダの柵を越え飛び降りようとした為、母親が制止した。その後、意識回復したが異常行動の記憶はほとんど無い。	B-07000259
156	2007/04/03	女性	10歳代	不明		幻覚	回復	3年前からリン酸押せるタミビル投与中に幻覚がみられた。本年、インフルエンザ発症。リン酸オセルタミビル投与開始。翌日、幻覚を見てドアにぶつかり額に裂傷を負う。	B-07000260
157	2007/04/03	男性	10歳代	150mg	アセトアミノフェン	幻聴	不明	咳・鼻水あり市販の解熱鎮痛剤を服用。38℃台の発熱がありボーっとしていたが意識正常。頭痛・悪寒があり、受診し、インフルエンザA型陽性と出たため、リン酸オセルタミビル処方。翌朝、自宅玄関(5階)から外へ出ようとしたため制止した。	B-07000261
158	2007/04/03	女性	10歳未満	42.6mg		異常行動	回復	インフルエンザB型と診断。リン酸オセルタミビル服用後、ベランダに向かって走り出したため、トイレに隔離したところ叫び声をあげていた。	B-07000262
159	2007/04/03	男性	50歳代	150mg	酒石酸ゾルピデム アセトアミノフェン	幻覚 異常行動	回復 回復	インフルエンザに対して、リン酸押せるタミビル投与開始。翌日、幻覚、異常行動発現。本剤投与中止。自宅にて発現したため、一過性の脳虚血発作を疑い、検査のため入院。結果は脳虚血発作の可能性は薄いとのこと。	B-07000263
160	2007/04/03	男性	50歳代	150mg	ジクロフェナクナトリウム アズレンスルホン酸ナトリウム・L- グルタミン	異常行動	不明	インフルエンザ検査陰性。リン酸オセルタミビル投薬。夕方、本剤、ジクロフェナクナトリウム服用後、しゃべりにくくなり、また身体が痛く動けなくなる。夜中、他院に受診。インフルエンザ検査陰性。以後本剤服用せず。車で移動中に車から道路に出ようとした。	B-07000264

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
161	2007/04/03	不明	10歳未満	不明		低体温	不明	略	B-07000266
162	2007/04/03	男性	10歳代	138mg		譫妄	回復	体温37.8℃で来院。インフルエンザB型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。 服用開始2日目、夜から未明にかけて、うわごとが続く。服用開始3日目に中止。 服用中止翌日、うわごと軽快。	B-07000267
163	2007/04/03	男性	10歳未満	27.5mg	アミノフィリン	肺水腫	死亡	受診時39.6度。インフルエンザA型の診断にて、リン酸オセルタミビル処方。服用1時間後、起き再度入眠。服用2時間後、左側臥位で呼吸停止状態に気付かれ、救急搬送。服用3時間後、死亡。司法解剖で高度肺水腫(肺炎なし)、脳浮腫高度(脳ヘルニアなし)、microgliosis、星状突起断裂にて「インフルエンザ脳症と矛盾しない」とされた。	B-07000268
164	2007/04/03	男性	30歳代	150mg	スルピリン	肺水腫	死亡	受診時37.5℃。B型インフルエンザと診断され、リン酸オセルタミビル処方。帰宅後本剤150mg服用し、就寝。翌朝、仰臥位、心肺停止状態で発見され死亡診断。 剖検結果より、推定死亡時刻は就寝3時間後。主要所見としては、拡張し重い心(448g、炎症なし)、肺水腫(肺炎なし)、尿トリエージ検査陰性、血中トロポニン検査陰性。拡張型心筋症による急性左心機能不全と診断。	B-07000269
165	2007/04/03	女性	10歳未満	18mg		痙攣 発育遅延	回復 不明	インフルエンザワクチン接種後、感冒様症状出現。ワクチン接種翌日、感冒様症状は軽快。ワクチン接種4日後、再び感冒様症状あり、迅速検査でインフルエンザ陰性。対症療法薬剤を1~2回服用。再度、感冒様症状発現から2日後、38.6℃発熱。リン酸オセルタミビルを服用。本剤服用約20分後、脱力、意識消失、チアノーゼ、痙攣を生じた。本剤服用45分後頃、A病院にて間代性けいれん、意識障害に対しジアゼパムを投与。10分後、痙攣が止まる。約90分後、意識清明、神経学的異常なし。その後は服用なし。5日後、下肢機能不良。発達障害あり。	B-07000270

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
166	2007/04/03	男性	50歳代	75mg	トシル酸スルタミシリン ジアゼパム 塩酸プロメタジン シメチジン ウルソデスオキシコール酸 オランザピン 非ピリン系感冒剤(4)	死亡	死亡	咳嗽、39度以上の発熱あり。インフルエンザA陽性と診断。服用時間不明。布団上で伏臥位で心肺停止状態。死亡。	B-07000271
167	2007/04/03	男性	10歳代	120mg	塩酸エプラジノン カルボシステイン 塩酸シプロヘプタジン	異常行動	回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。服用し、就寝。服用2時間半後、急に体をおこし、2階の窓から飛び降りようとしたため、家人がとりおさえ、ことなきを得た。すぐにおさまり、1階へ移動して就寝した。服用4時間半後、再び急に起き上がり、今度は1階の窓から飛び出した。その時、外で隣人が水まきをしており、その場で我にかえり、ことなきを得た。服用中止後、異常行動なし。軽快。	B-07000272
168	2007/04/03	男性	10歳未満	96mg	維持液(3) ヘパリンナトリウム	肺炎 胸水 無気肺	軽快 軽快 軽快	略	B-07000273
169	2007/04/03	男性	10歳代	116mg	臭化水素酸デキストロメトर्फアン 塩酸アンブロキシソール	異常行動	回復	39℃の発熱、咽頭痛、咳あり。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル処方。本剤臭化水素酸デキストロメトर्फアン、塩酸アンブロキシソールを内服。服用約1時間後、1階にて寝ていたが覚醒し、階段を半分まで上がり、母が駆けつけると驚き泣く。1階へ連れ戻すと玄関を指差し怯える。部屋へ連れてはいると騒ぐ。布団に入れたが体中に力を入れ捻る(約5分間)。急に立ち上がり胸を両手でおさえる。母が抱きしめていると落ち着き就寝。服用7時間後、本剤服用するものの、2/3は吐き出す。服用1時間後、起き上がり、掃除機のホースに足を入れようとする。本人は夢でマンションから飛び降り、痛みはなく、起き上がり歩こうとした。掃除機に足を入れようとしているところで現実に戻ったが、自分の体を止めることができなく、その後、記憶がなくなったとのこと。	B-07000274



# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
170	2007/04/03	女性	30歳代	150mg	プロピルチオウラシル	血腫 咽頭出血	軽快 軽快	略	B-07000275
171	2007/04/03	女性	50歳代	150mg		息詰まり	未回復	略	B-07000276
172	2007/04/03	不明	小児	不明		譫妄	回復	インフルエンザA型と診断されリン酸オセルタミビル処方。服用5日目に譫妄の症状が発現し入院。入院時インフルエンザウイルスは陰性。服用6日目、譫妄は回復。	B-07000277
173	2007/04/03	男性	10歳未満	88mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル投与開始。翌日、異常行動発現。その後回復。	B-07000278
174	2007/04/03	男性	10歳未満	81mg		異常行動	回復	A型インフルエンザのためリン酸オセルタミビルを投与開始。投与後突然起き、走り出し、ドアに激突、顔面打撲(左顔)。異常行動発現。	B-07000279
175	2007/04/03	男性	10歳未満	不明	塩酸レセルピリン酸ジメチルアミノエチル ヒベンズ酸チペピジン 塩化リゾチーム アセトアミノフェン 塩酸ブロムヘキシソ	異常行動	軽快	リン酸オセルタミビル投与後30分後、口を噛むようなしぐさを繰り返す。服用3時間後、多弁、幻覚、物を取るようなしぐさを発現。同日夕方、入院。脱水傾向もあり。体温38.8℃。翌日、軽快。	B-07000282
176	2007/04/03	男性	10歳代	75mg		譫妄 意識レベルの低下	回復 回復	発熱39℃。インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。服用3時間後、せん妄、もうろう状態発現。トイレに行きドアを開けずに接近し、転倒。その後2階で寝かせた。床の中で不隠動作(手をバタバタさせたり起き上がろうとしたり、物に話すような動作)が認められたため、両親が体を抑えつけていたら改善した。記憶は定かではなかったとのこと。症状回復。本剤投与中止。翌朝、体温35.8℃に低下し、回復。	B-07000283
177	2007/04/03	男性	10歳代	150mg		異常行動 幻覚	回復 回復	インフルエンザB型と診断され、リン酸オセルタミビル投与開始。異常行動、幻覚発現。何か幻覚のようなものを見て、外に出ようとした。母親が止めようとしたが、止められず、父親が平手打ちをしたところ正気に戻った。翌日、熱も下がり、症状は回復。本剤は継続中。	B-07000284

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
178	2007/04/03	女性	10歳未満	不明		痙攣	回復	インフルエンザの疑いの為、リン酸オセルタミビル投与開始。熱性痙攣発現(非重篤)。インフルエンザは陰性。熱性痙攣回復。	B-07000285
179	2007/04/03	男性	10歳未満	132mg	臭化水素酸デキストロメトルファン d-マレイン酸クロルフェニラミン フマル酸ケトチフェン	異常行動	回復	インフルエンザA型に対して、リン酸オセルタミビル処方。うわごとを言って、表情もこわばり、走り出すため、親が抱きかかえていた。服用後6~7時間後に症状消失。再度本剤服用後、同症状出現し、繰り返した。4回目の服用中止。症状全て回復。	B-07000286
180	2007/04/03	女性	50歳代	75mg		落ち着きのなさ	回復	インフルエンザA陽性であり、症状の訴え強いため、リン酸オセルタミビル75mg服用後、透析開始。服用10分後、息苦しさ出現。SpO2 90%。O22リットル開始後、98%に改善するが、その後起座呼吸。不穏状態となる。胸部レントゲン上(透析1時間後)うっ血を認める。服用1時間後、心不全、不穏の為、入院。	B-07000287
181	2007/04/03	男性	10歳未満	168mg	クラリスロマイシン	異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル処方。本剤服用5時間後、部屋を意味も無くうろろする。急に水遊びをした。その後、布団が重いと言い出し、突然2階に駆け上がり、父親の枕を取り上げた。その後、1階に駆け下り、父親が取り押さえた。熱は38.5度。3回目から服用せず。解熱剤の併用もなし。夜間のエピソードの記憶はなかった。	B-07000288
182	2007/04/03	女性	10歳代	150mg		意識消失 痙攣 意識消失	回復 回復 回復	診察時38.4℃。インフルエンザ治療のためリン酸オセルタミビル5日分処方。服用終了後、解熱。服用終了2日目、意識喪失、痙攣発現。その日のうちに受診。意識喪失、痙攣回復。服用終了3日目、再度、食事中意識喪失(重篤でない)で2、3分倒れる。意識喪失回復。神経内科に検査のため入院(1週間)。検査では異常は認められなかった。	B-07000289
183	2007/04/03	男性	高齢者	150mg		妄想	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル処方。翌日、精神異常(妄想)発現。常に後ろから誰かに邪魔されている、邪魔されている人から逃げる。逃げ切った後に急にその人が前に現れるといった症状が、本剤服用後に確認された。本剤服用中止。症状回復。	B-07000290
184	2007/04/03	男性	10歳未満	不明		異常行動	回復	インフルエンザに対して、リン酸オセルタミビル4日分処方。服用開始2日目、熱はなし。服用開始3日目、突然泣き出す等の異常行動発症。	B-07000293

# リン酸オセルタミビル 中外製薬(株)からの症例報告

(平成19年3月21日から4月3日まで)

No.	報告日	性	年齢	1日用量	併用薬	副作用	転帰	経過の概要	識別番号
185	2007/04/03	男性	10歳代	75mg		異常行動	回復	インフルエンザ治療のため、リン酸オセルタミビル服用開始。服用後も高熱(39度)が持続。服用10時間後、階段を勢い壁下りてきて、玄関から飛び出し、田んぼを走っていた。その後、国道に寝ていたが、車輛が気づき、事故に至らなかった。その後、本剤服用中止。アセトアミノフェン服用し、解熱。異常行動回復。	B-07000306

